

認知症の人が地域で“生ききる” ことを支えるために



医療法人 静光園 白川病院
中央地区地域包括支援センター
猿渡 進平

医療法人 静光園 白川病院 概要

◆ 診療科

内科・リハビリテーション科・放射線科

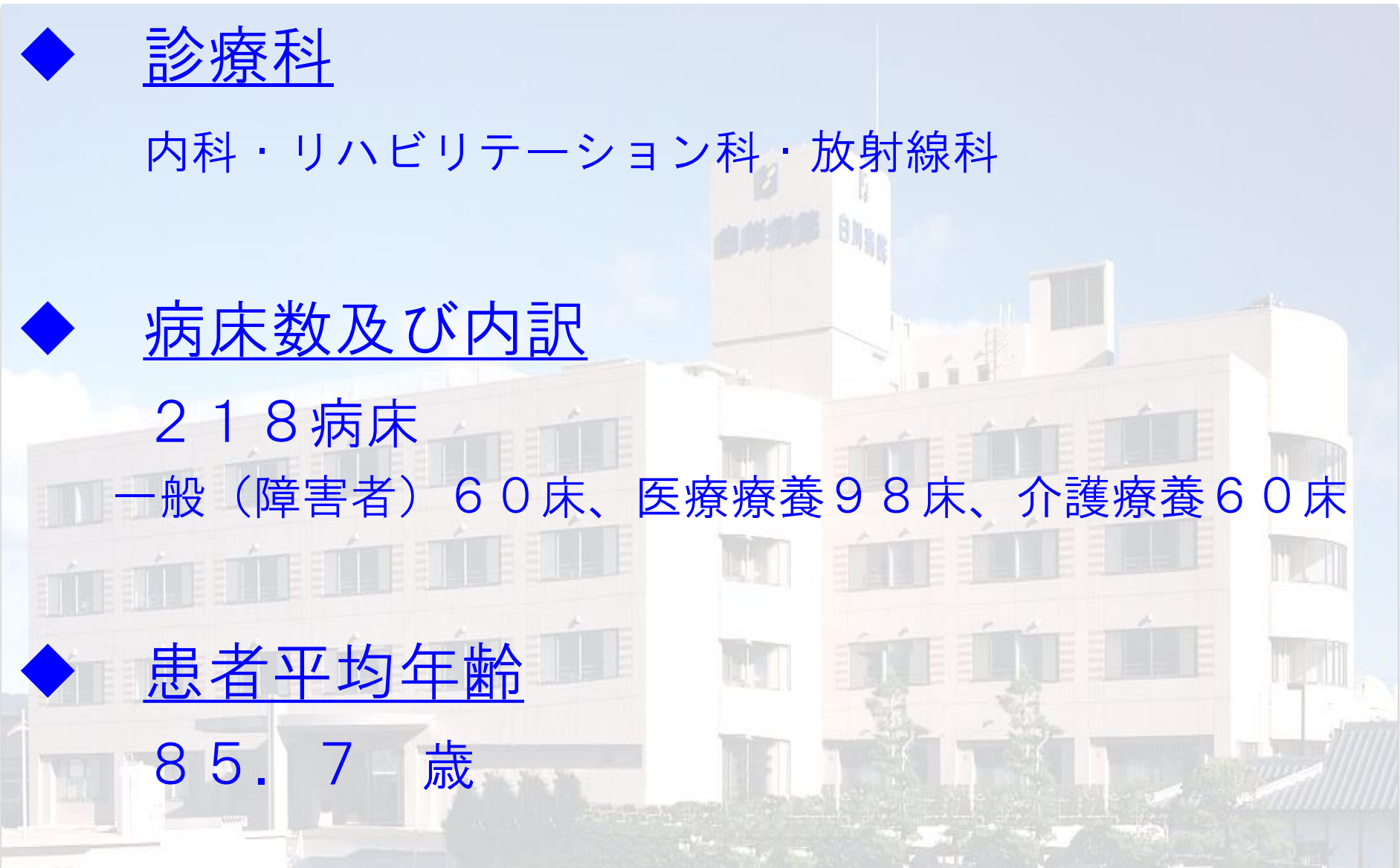
◆ 病床数及び内訳

218病床

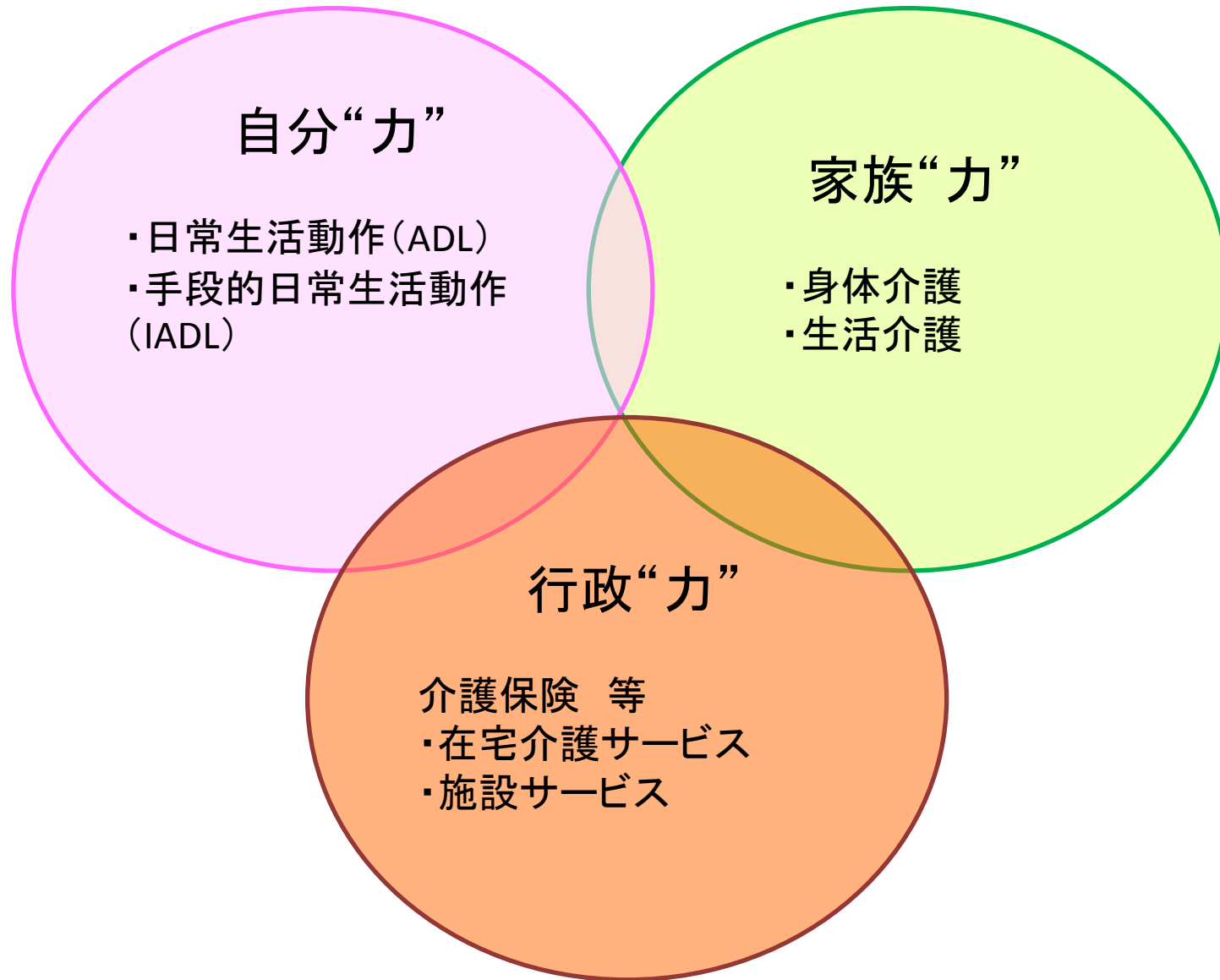
一般（障害者）60床、医療療養98床、介護療養60床

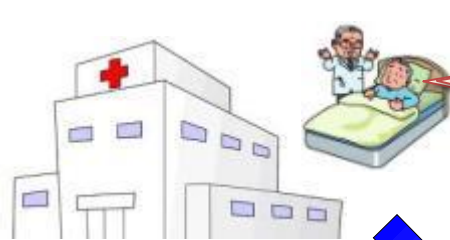
◆ 患者平均年齢

85.7歳



患者が自宅退院するために必要な“力”





- ・ 子供達との思い出がいっぱい詰まった家に帰してください。
- ・ 夫にお線香をあげないと申し訳ない。

※ 本人の「自宅に帰りたい」という意思があっても実現できない場合が多い

不本意

「本人“力”」「家族“力”」「行政“力”」に
「**地域“力”**」が加われば
住み慣れた家（環境）で生活することができないのか？



ほっと安心（徘徊）ネットワーク

大牟田市 徘徊SOSネットワーク模擬訓練(平成14年～)

1. 認知症の人と家族を支え、見守る地域の意識を高め認知症の理解を促進していく
2. 徘徊高齢者を隣近所、地域ぐるみ、多職種協働により可能な限り、声かけ、見守り、保護していく実効性の高いしくみの充実
3. 認知症になっても安心して暮らせるために「徘徊＝ノー」ではなく、「安心して徘徊できる町」を目指していく

訓練に向けた取り組み

①校区実行委員会の設立

声かけ訓練や情報伝達網の再整備、認知症サポーター養成講座など必要となる取り組みについては、各校区それぞれにおいて検討を進め、訓練当日に先立つ準備として各校区で事前に実施する。

実行委員会メンバー（校区によってメンバーは異なる）

- 民生委員・児童委員協議会
- 校区町内公民館連絡協議会
- 校区社会福祉協議会
- 地域の医療、介護事業所(地域交流施設)
- 地域包括支援センター
- 認知症ライフサポート研究会運営委員
- 大牟田市長寿社会推進課

平成19年 第1回 徘徊模擬訓練inしらかわ

- 民生委員が中心 7500人中 9名の参加

※ 校区社協や公民館に呼びかけを行ったが参加者なし

1名の徘徊役に2時間歩いてもらう。

地域からの声かけ 1件

地域の関心度は非常に低く協力的ではない。
偏見や差別的な意見もあり他人事。



地域ふれあいフォーラムinしらかわ
～とんとんとんからりと隣～

白川校区
社会福祉協議会

白川校区
公民館連絡協議会

白川校区
民生児童委員連絡協議会

地域の中での支え合いや
ネットワークの必要性について検討

白川校区
しらかわ生き生きクラブ

白川校区
老人クラブ

長寿社会推進課

医療法人 静光園
地域交流センターしらかわ

任意団体
白川ふれあいの会

第2回 徘徊模擬訓練inしらかわ

開催日： 平成20年11月9日

参加者： 87名

徘徊役： 6名 に対し声掛け 35件



平成20年11月11日(火)

防げ徘徊 声かける勇気を



大牟田 23全校区で模擬訓練

地元の女性に話しかける徘徊者の女性(右) 大牟田市内

認知症に対する理解を深め、安心して暮らせるまちづくりを進めようと大牟田市で9日、徘徊模擬訓練があった。04年に始まって5回目となる今年は、市内の23全校区に「徘徊役」が登場、市民と言葉を交わす回数も昨年の4倍近い333件に増えた。ただ、市民からの声掛けは少なく、認知症の専門家は「市民が一步踏み出して声をかける勇気が必要」と課題を指摘した。

軽い認知症の76歳の女性が自宅を出たまま行方不明、との家族から警察への届け出で訓練は始まった。「茶色の上着、黒のスボン、白いスック。帽子に黄色い子ども用傘」。市内の各団体でつくる「徘徊S

OSネットワーク」から各校区に情報が流れた。
市の中心部から約2キロ北西の白川校区では、市内で最も多い6人の徘徊役が住宅地を歩き始めた。

このうちの1人、ボランティアの女性はまもなく、子ども連れに女性に「道に迷った。足が痛い」と訴えたが、「忙しい」といって立ち去った。通りを歩いている人は少なく、声をかけてくる人はいない。路上に座り込むと、自転車に乗った女性と女の子が声をかけてきた。「熊本県荒尾市にいます。息子に会いに行くところ。ここは荒尾ですか」と尋ねると「大牟田ですよ」と答えただけで行ってしまった。

やっと訴えを聞いてもらえたのは、同年配の女性に「ここは福岡でしょうか」と聞いたとき。女性は驚いた様子で「福岡に行くには電車に乗って」といって、近くの知人の家に相談に行こうとした。たまたま帰宅した知人が「この人は訓練」と教えて、女性ははっとした表情になった。

約2時間の訓練でこの徘徊役が言葉を交わしたのは5回。うち市民から自発的に声をかけたのは1件もなかった。自転車に乗った女性と女の子も、実は訓練を支援する人が「おばあちゃんがおかしい」と声掛けを頼んだものだった。

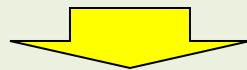
結局、白川校区で6人の徘徊役が市民と言葉を交わしたのは35件。うち24件は徘徊役から声をかけたもので、市民からは11件だった。訓練後の講評で大牟田市民認知症ケア研究会の竜田誠運営委員が「市民も庭先から徘徊役を見ているだけでなく、外に出て声をかける勇気を持ってほしい」と指摘した。(田中良和)

結局、白川校区で6人の徘徊役が市民と言葉を交わしたのは35件。うち24件は徘徊役から声をかけたもので、市民からは11件だった。訓練後の講評で大牟田市認知症ケア研

徘徊模擬訓練を通して見えてきた課題

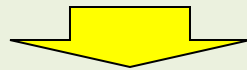
○地域住民の方からの

自発的な声かけは35件中11件だった



*実績としては昨年と同様

○住民間の関係の希薄さが浮き彫りに



○普段から隣近所へ関心を持ち

互いに気軽に声かけできるような

関係づくりが大切

第4回地域ふれあいフォーラムinしらかわ

～ 認知症の人が安心して暮らせる地域とは？ ～

開催日：平成21年3月29日

1. 講演 「認知症の人が地域で生ききる」を支えるために

認知症介護研究・研修東京センター 永田 久美子 氏

2. 実践報告 (1) 「徘徊模擬訓練inしらかわ」から見てきた課題

(2) 認知症になった親を自宅で介護した体験話

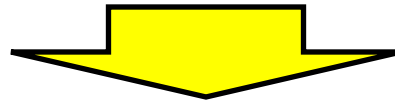
～家族力、地域力、行政力を通して～

3. 意見交換 認知症になっても「白川校区」で安心して暮らし続けるためには



意見交換を通して

本人の地域での生活を把握するために、
地域での「ふれあいの場所」をつくる。



- ・隣り近所の付き合いをベースに情報を広げる。
- ・本人の地域での繋がりを保つ関係づくり。
- ・「認知症」を地域で公言できる関係づくり。



○地域住民間の「交流の場」や
「悩み相談所」「ネットワークの拠点」として

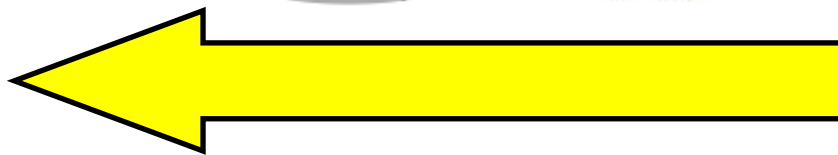


サロン(たまり場)が必要

サロンの開設のポイント

・サロン(たまり場)

自 宅



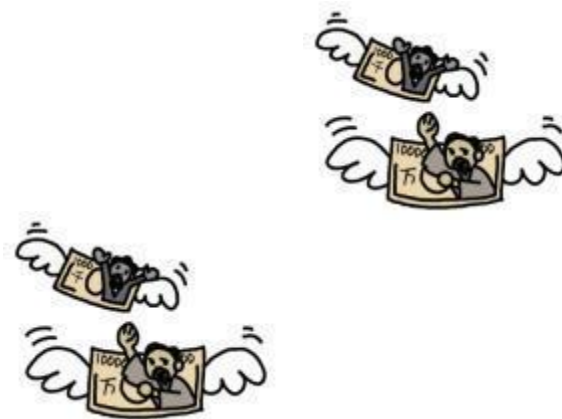
自宅から歩いていける距離に設置する。

しかし！

サロン等の開設には
お金がかかる！

契約は誰がするのか!?

- サロンの開業資金、運転資金
- ボランティア保険への加入
- 継続的な事業開催費



などを確保しなくてはならない。

NPO法人の立ち上げ

3点の問題から法人格取得



① 社会的信用獲得

- ・空家の契約とボランティアの提供

② 自主財源確保による連帯感と目的

- ・目標に到達するという契機と資金の透明化

③ 継続性、自主性を持たせる為の組織化

- ・責任感の獲得と入りやすさ

NPO法人 しらかわの会 設立総会 開催

- ・ 開催日：平成21年11月15日
- ・ 出席者：54名



審議内容：

- ① 設立趣旨に関する件
- ② 事業計画等について
- ③ 役員の選任について
- ④ 設立代表者の選任について など

NPO法人 しらかわの会
設立総会会場
平成二十一年十一月十五日 九時受付

NPO法人設立総会 集合写真



「NPO法人 しらかわの会」の活動計画

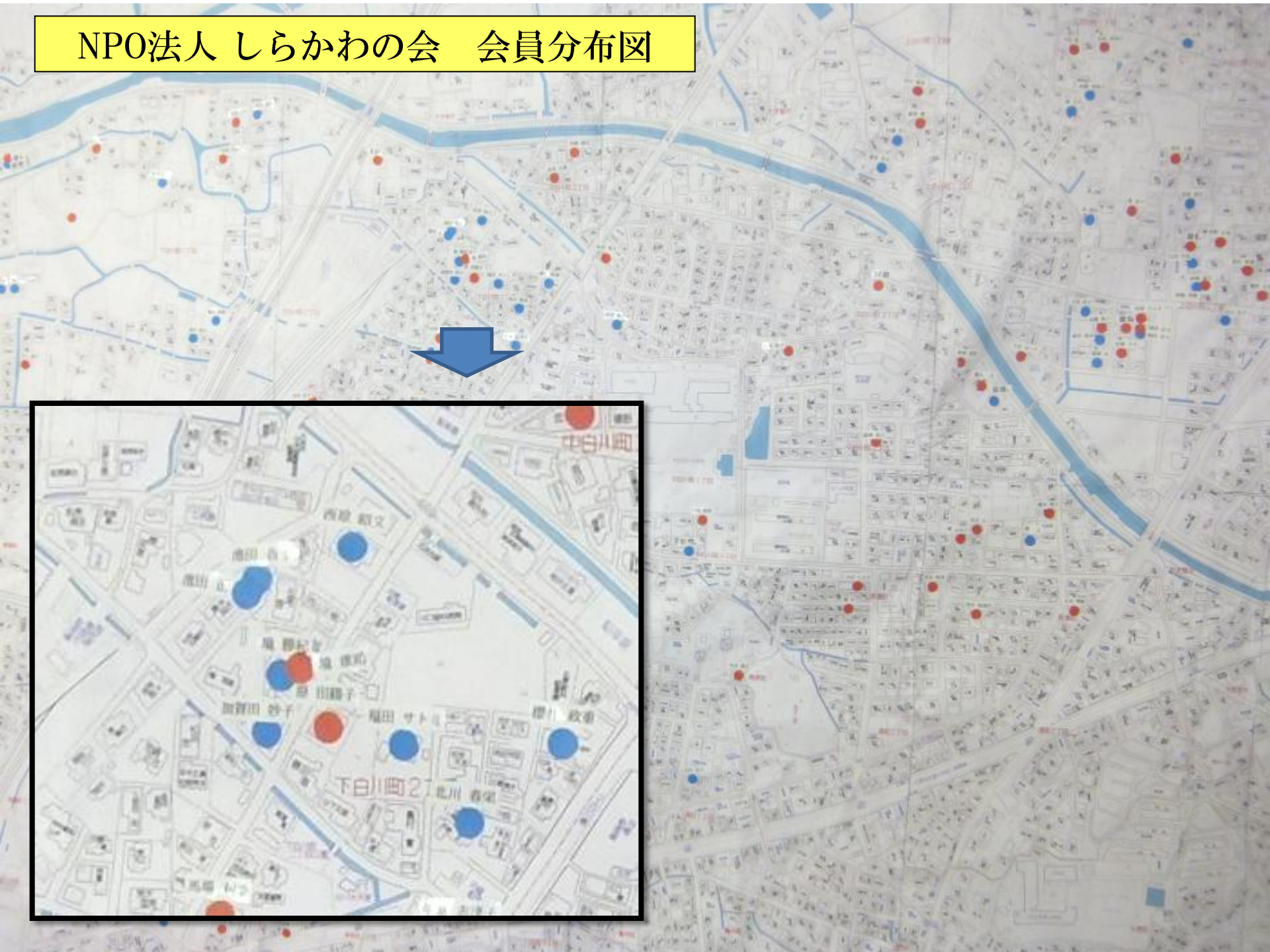
基本目的

高齢者、障害者等の世帯を対象に個別訪問を実施し、家事支援及び生活相談に応じ自宅で安心して生活できるように支援する。また安心して住める町づくりを目指す為、環境整備や安全確保を重点に地域の活性化に寄与する。

事業名	具体的内容	実施予定
・ 日常生活支援事業	・ 個別訪問による買い物、付き添い、清掃、庭木の手入れ、相談支援等 ・ サロン事業	随 時
・ 環境美化部会	・ 堂面川河川敷清掃 ・ 地域内の清掃活動	1回／年 1回／年
・ 安心、安全部会	・ 防犯灯及び危険箇所点検 ・ 地域広報誌発行	2回／年 随 時
・ こども部会	・ 通学路点検 ・ 学校諸行事の支援 ・ こどもの居場所づくり ・ 障害児の登下校支援	2回／年 随 時
・ 自治体及び他団体の支援事業	・ 徘徊模擬訓練 ・ 白川まつり	1回／年 1回／年

①日常生活支援事業

NPO法人 しらかわの会 会員分布図



日常生活支援部会



NPO法人 しらかわの会

日常生活で何かお困りことはありませんか？

- ◇ 玄関先や庭などの除草作業
- ◇ 蛍光灯の交換などの高い所の作業
- ◇ 家具など重い物の移動
- ◇ 退院時の家の掃除
- ◇ 簡単な家具や器具の組み立て
...など

白川校区にお住まいの高齢者世帯、
障がい者世帯を対象としております。

利用料は無料
(材料費がかかる場合は依頼者様負担をお願いします)

しらかわの会
事務局へ申し込み ☎ 53-4191 (または馴染みの民生委員さんへ連絡)

↓

事前に打ち合わせにお伺い致します。
お手伝いできる範囲を話し合いましょう！！
(内容次第では難しい場合もございます)

私達NPO法人しらかわの会は、白川校区の皆さまが住み慣れた地域
でいつまでも安心して暮らし続けていくために、全力でお手伝いをさせ
ていただきます！
まずは事務局または馴染みの民生委員さんまで気軽に相談ください。

NPO法人
しらかわの会

〒837-0926
福岡県大牟田市上白川町1-246
(地域交流センターしらかわ内)

TEL 0944-53-4191 FAX 0944-56-1091
E-mail shirakawanokai@yahoo.co.jp

サロン部会

わくわくサロンしらかわ

みんなの素晴らしい笑顔。一人よりみんながいいよね。





学童保育の子ども達と・・・



わくわくサロンしらかわ

昔みたいにみんなで支えあっていけたら安心ね。



交流センターしらかわ サロン



提供していただいた休耕田地

Before





将来的構想

白川校区



徘徊模擬訓練inしらかわ2010

中学生が
啓発ポスターを作成



声かけデモンストレーション



徘徊模擬訓練inしらかわ2011



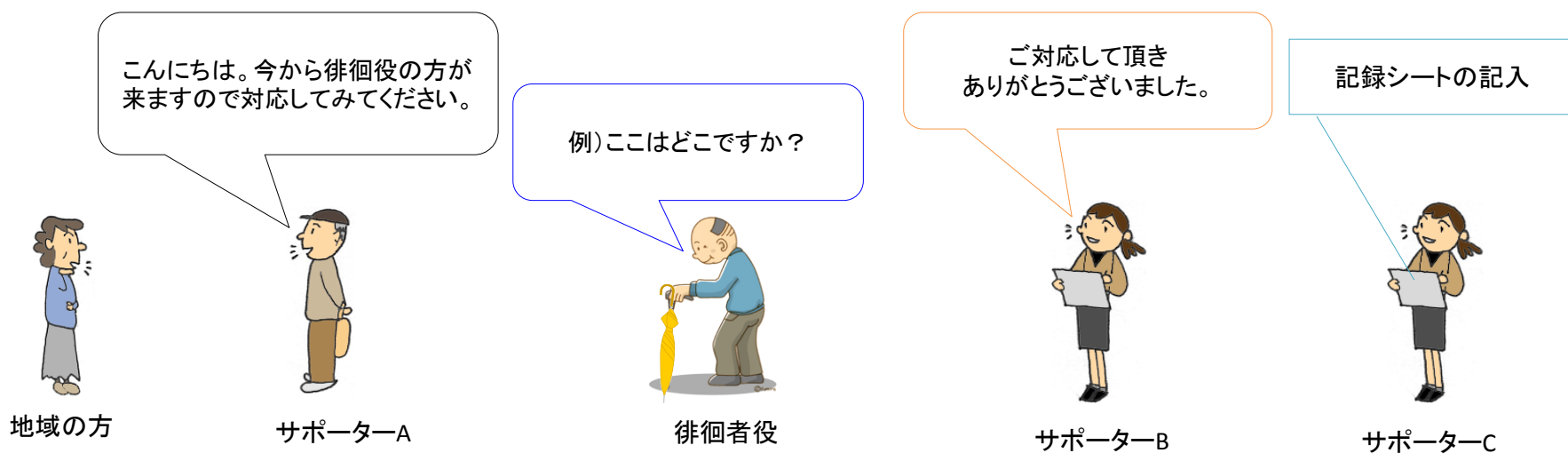
小学生も積極的に声かけ訓練



実施結果との比較

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
徘徊役	1名	6名	20名	26名	26名 (サポーター 104名)
参加者	9名	87名	240名	165名	167名
声かけ	1件	35件	361件	247件	268件

徘徊者役・サポーターの役割



・それぞれに、記録や徘徊役のフォローなどの役割を持つ。

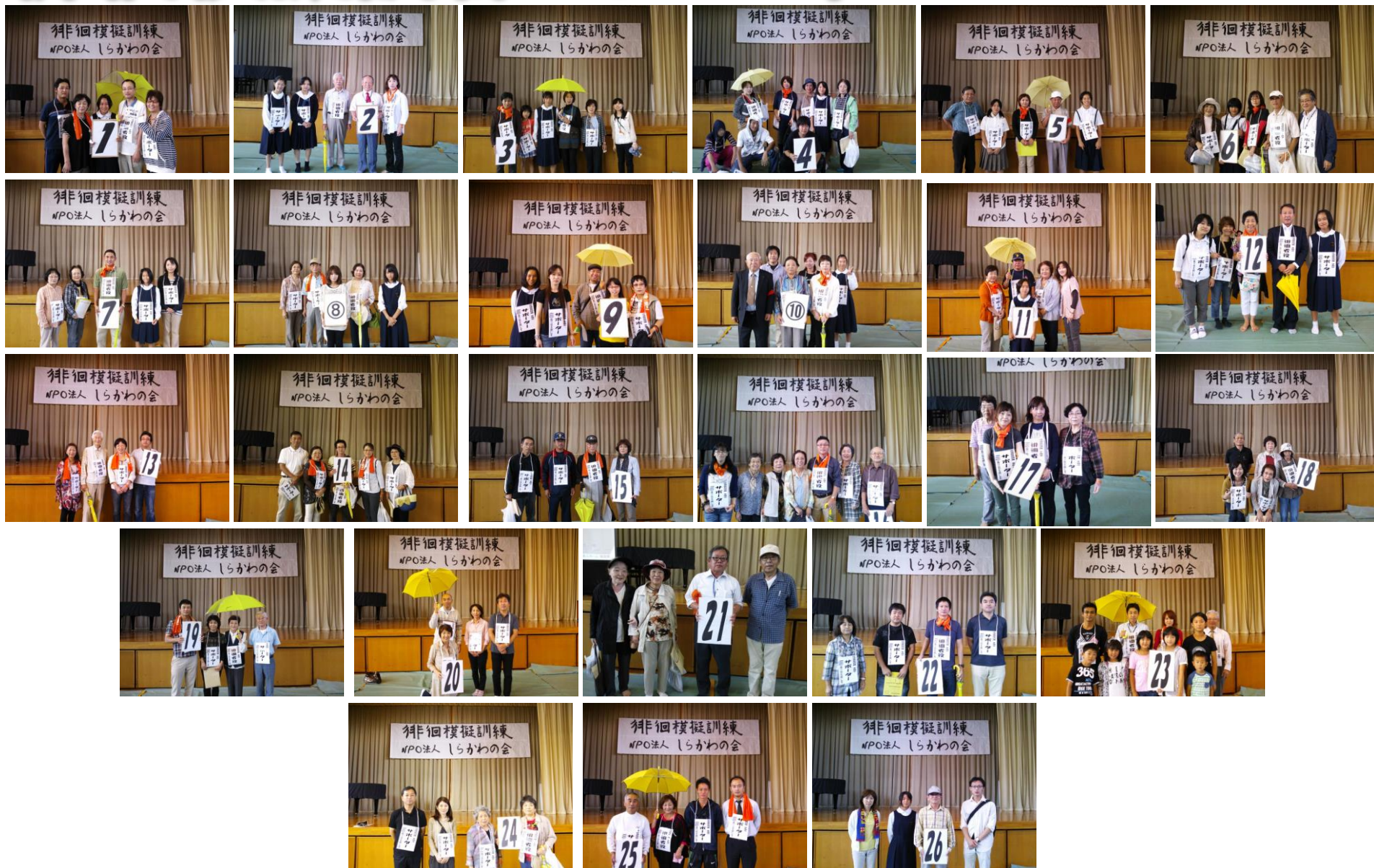
平成21年～平成23年の声かけ分布

- 平成21年
- 平成22年
- 平成23年

912戸へ訪問実施



徘徊模擬訓練inしらかわ2012



2013年 徘徊模擬訓練inしらかわ スタッフ 集合写真



私たちの夢！！

- 校区内15か所へサロン設置
(常時誰かがいるお茶のみ場)
⇒ **障害者の雇用**・子供預かり・避難場所
寺子屋機能・足湯・食事の配達 など
- 各サロンへの行商・**巡回バス(買い物巡行)**
- **休耕田地**での野菜栽培(PBの開発)
- 水力発電機・ソーラーパネルの設置
(**電気代無料化**)
- 温泉センターの設立(居酒屋併設)



医療機関、介護施設として

“利用者”と“地域”との連携

インフォーマルを中心とした支援

医療機関からの退院前の清掃



病院から退院する患者の 退院前訪問指導

* 地域の繋がり合いの復元

本人

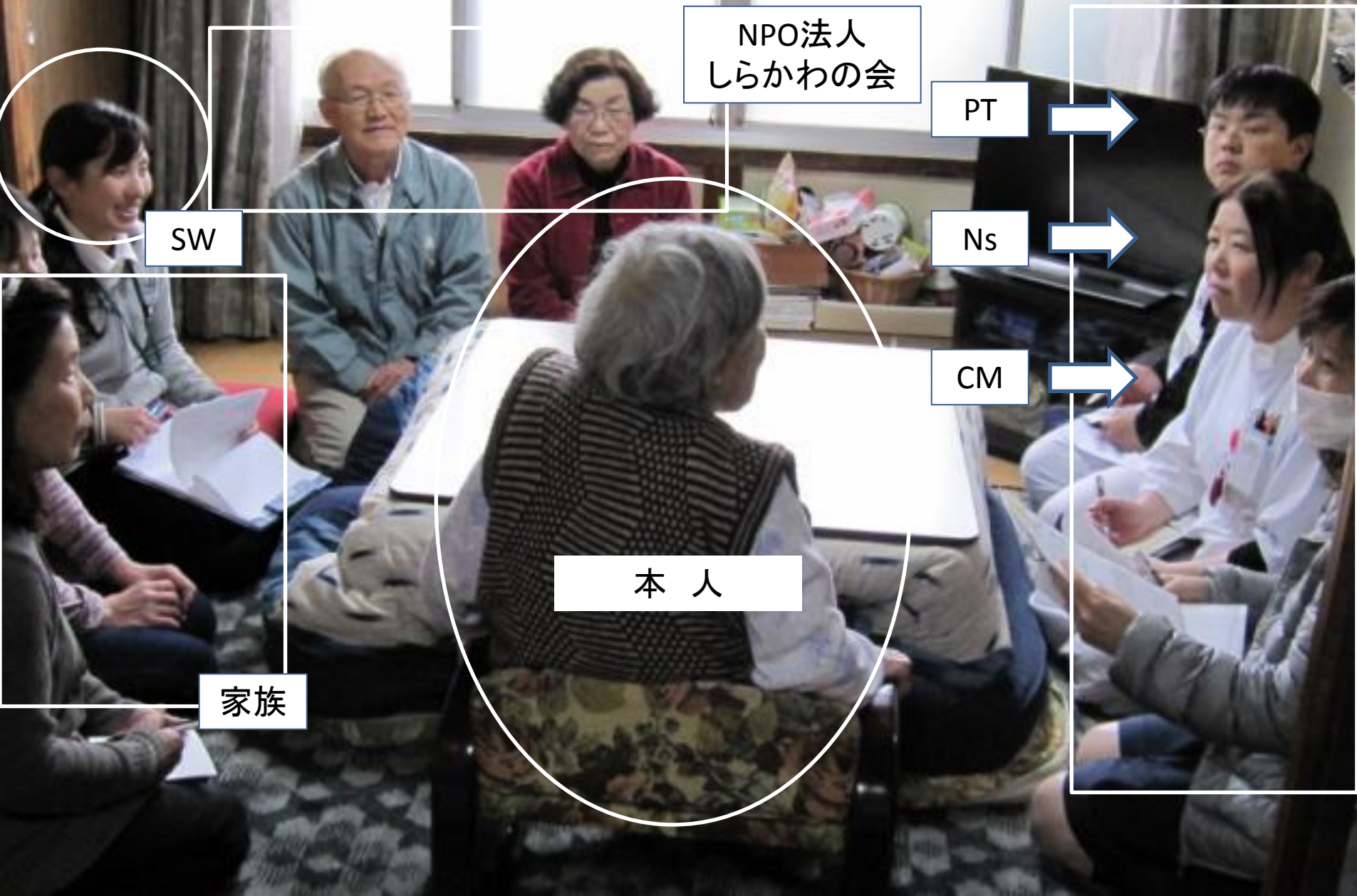
インフォーマル

別居家族

フォーマル



病院から退院する患者の 退院前訪問指導



石原十江

滝口代

中村美子

奥園一夫

赤崎武

山田利春

猿渡三雄

奥園(算)

小宮草木

白川の会

53-4191

海田一平

生見八百

スミバ

用光世

地域に暮らす認知症高齢者の支援会議



“見守られ訪問”Sさんマップ

婦人会仲間
(カラオケが好き)

小規模多機能ホーム
ひだまり

元民生委員で
以前より見守り等の
支援を行っている

神
日課(毎朝)
お参りに行き、境内
通る人を見る

かかりつけ医

自治会の主事夫婦
昔から畑で採れた野菜を
お裾分けしている。

本人の茶のみ友達。
近頃会っていないが会いた
いと思っている。

よく自転車でウウウとしており
話し相手になってくれる

昔からあるお米屋さん
昔から本人との関わりもあり、
配達の度に話をしている。

公民館
昔から加入している自治会

自治会の副会長で
時折訪問している
自治会の集まりに
誘っている

親子でよく声をかけ
話をしている若い家族

永年住んでおり
現在は担当民生委員
定期的な訪問をしている

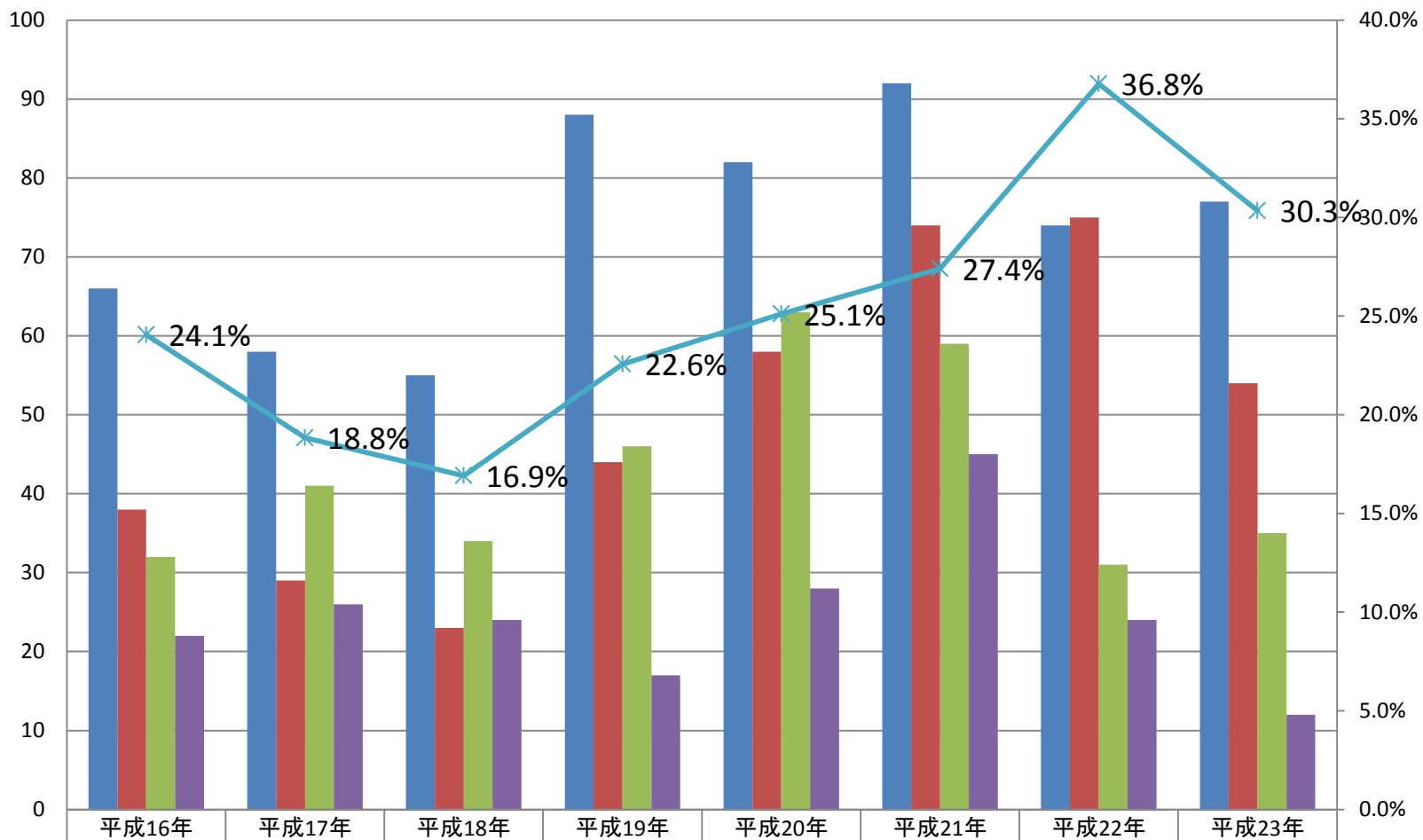
NPO法人しらかわの会会員、
見かけるたびに声をかける。

昔からの知り合いで良く一緒
にお茶を飲んでいる、

商店

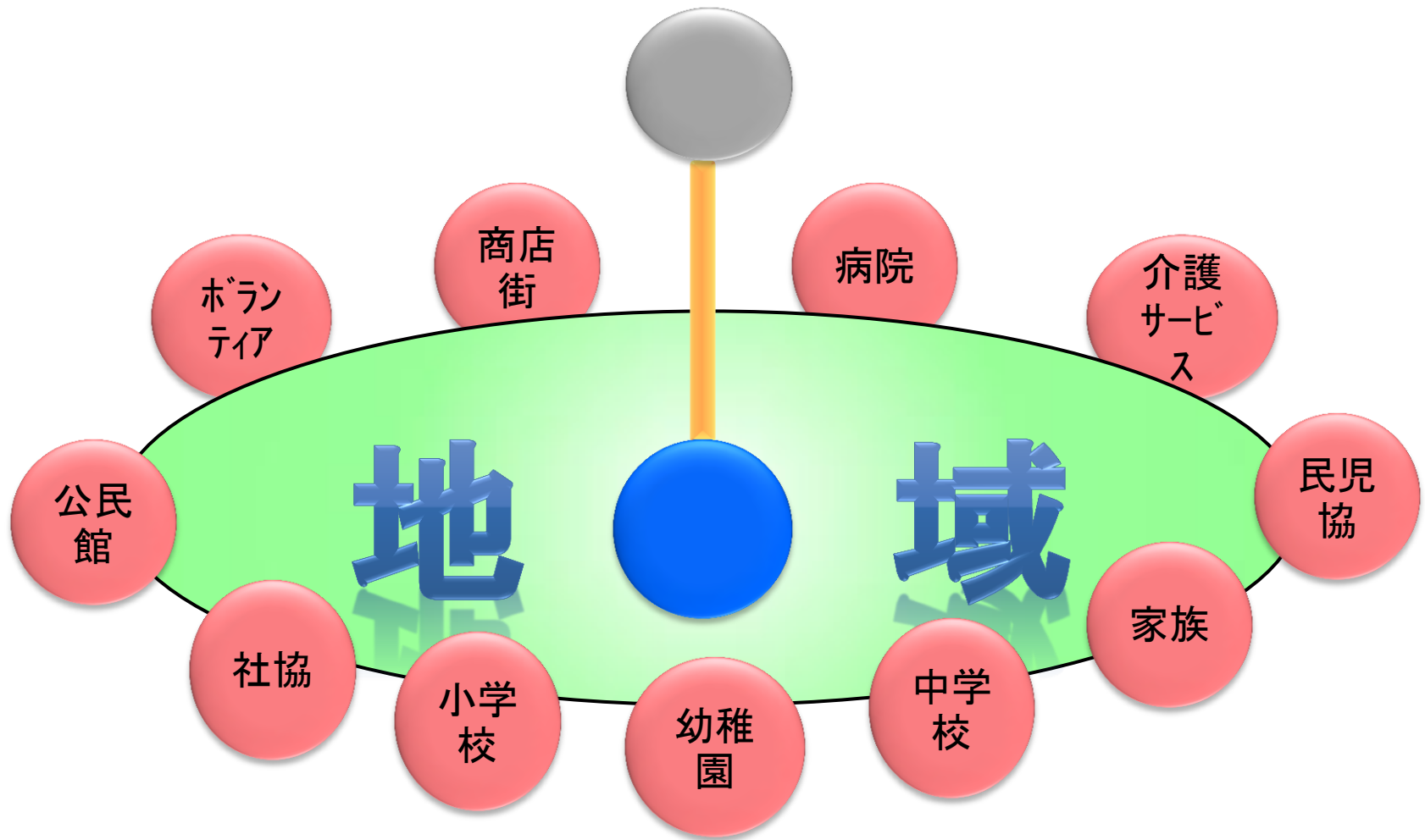


退院患者動向



死亡	66	58	55	88	82	92	74	77
在宅	38	29	23	44	58	74	75	54
転院	32	41	34	46	63	59	31	35
施設	22	26	24	17	28	45	24	12
入院患者数に対する 自宅退院患者の割合	24.1%	18.8%	16.9%	22.6%	25.1%	27.4%	36.8%	30.3%

自宅で生活困難な住民



点と点で支えるのではなく…**多重の面**の中で生きる

個人個人の“つぶやき”

(住みにくいなー……。不便だなー)



大人数の“声”

(私もそう思うのよ！！)



連結し“形”にする

(みんなでだったらやれそうね。やってみましょう！)

住 民



行 政

本音の合意形成



医療、介護事業所
社会福祉協議会 等